

あしや子ども風土記

# 写真で見る 芦屋今むかし ③

芦屋の今(平成十一年)とむかし(昭和三十年代)の写真を、可能な限り同じ場所から撮影しています。見比べることにより、人々の暮らしがどのように移り変わってきたかを確かめることができます。これからのまちづくりに、何らかのヒントになるでしょうか。

## 阪急芦屋川駅周辺

阪急電車が走るようになったのは、大正九年です。

開通と同時に芦屋川駅が開設され、周辺も住宅地として発展するようになりました。駅周辺の商店街は、山手商店街と呼ばれていましたが、今は山手サンモールと名前を変えています。

阪急芦屋川駅は今のよう電車と車の立体交差、昭和三十四年完成ではなく、踏切が設置され電車と車が通っていました。駅の北側にある桜橋は、阪急電車の鉄橋のそばに架かっていました。



昭和28年 (1953年)



平成10年 (1998)



旧桜橋の橋脚は芦屋川の川床に今も残っています。この付近は、谷崎潤一郎の小説『細雪』の舞台となったところです。

## 阪神国道電車

昭和二年の国道2号開通とともに阪神国道電車が営業を開始しました。西野田から東神戸間約二十六キロメートルを結ぶ路線を走り、多くの人々に親しまれてきました。



昭和30年 (1955)

戦時中は、沿線の軍需工場の通勤客で超満員となり、戦後も最盛期の昭和二十六年には一日平均八万人を記録しました。芦屋には「芦屋川」「芦屋駅前」「山打出」の三つの駅がありました。昭和四十年



平成10年 (1998)

代後半の二二区間の乗車料金は三十円とバスの料金よりも割安でした。しかし、大阪万国博覧会開催以後、自動車の交通量が増える一方、電車の乗客数が少なくなり、昭和四十九年に廃止されました。



## 国道43号の工事

旧国道(浜街道)のルートを整備し、交通量を緩やかにするため、国道2号に続き、国道43号が昭和三十八年開通しました。これによって芦屋川に架かっていた永保橋は取り壊され、芦屋川橋として生まれ変わりました。



昭和31年 (1956)

「永保橋」として残っています。上の写真は、国道43号の工事着手前のものです。左上にはバスの「芦屋川」停留所が見えます。



平成10年 (1998)

また、その横の石碑は交通安全を願い、大正十四年に立てられたもので、現在、浜芦屋町に移されています。



●平成十年に発行した「あしや子ども風土記」写真で見る芦屋今むかしを紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

# 武庫川女子大学 オープンカレッジ



### ▶ 受付開始日

4月11日(月)から電話で受講申し込み開始  
講座によってお申し込み日が変わります。  
お届けする講座案内でお確かめください。

### ▶ 受講資格

男女年齢を問いません。  
勉学意欲があれば、どなたでも会員になれます。

### ▶ 会員特典

本学の中央図書館が利用できます。(利用カード発行手数料が必要ですが)特別学期期間中(1月~2月)大学の正規の講義を学生とともに無料で受講できます。

## 平成23年度春学期のご案内 (4月22日より随時開講) 広告

### ▶ 開講講座

福祉のお金/現代文明の本質と行方/小筆で源氏物語万葉集/源氏物語/近松門左衛門/日本語講座/聖書座禅/心理学/女声合唱/アリアを歌う/水彩画/パステル画/淡彩画/デッサン/英語/中国語/食文化/ジャイロキネシス/太極拳...等 **多彩な計42講座**  
4~11回授業 各6,000円~22,500円(別途会員登録料3年:3,000円)  
講座内容はHPでもご覧いただけます。  
URL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~opencoll/>

●随時資料請求・お問い合わせ受け付けます。  
**TEL.0798-67-1450** ただし 3/19~4/3除く  
月~金 10:00~16:00 土・日・祝日は受け付けておりません。